

横芝の碑 (その二十六)

御注意と御連絡に心えて

横芝の碑も今月で二十六回目を迎えました。この間、皆様から、いろいろと御注意や御連絡を戴いております。その事柄については、

度は、十一月号で御案内申し上げましたが、同じ南川岸の佐瀬さん他の皆さんからも御連絡を戴いておりますし、観音様に鳥居という不思議な取合せのこともあり、是非皆様の御協力を載せて改めて寄稿させていただきます。と考

中にはそのままになっているものもあると考えられますので、今月は、その事柄をどんな風に取扱わせて載っているか、ということをお知らせして、今後の御協力をお願いしたいと思います。

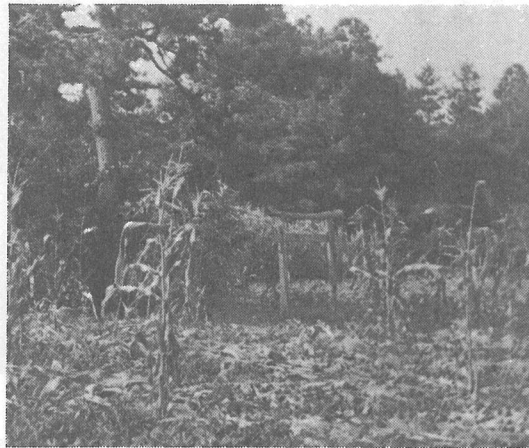
〇「終戦処理内閣の総理大臣鈴木貫太郎大将が、二二六事件の際に、

〇「横綱小錦八十吉の墓石が横芝上町に建っている。」伊能忠敬が全国測量に出発した原点標が小堤日吉台にあるが」という御連絡を地元の方から戴いております。この二つにつきましては、すでに異なった形で本紙に掲載したことがありますので、一応暫らく見送り、折を見てこのシリーズに組入れたいと考えて研究をしております。

〇「三基の馬頭観音についての資料が自分の家にあると思う、改めて掲載してどうか、」という御連絡を南川岸の三枝さんという方から戴きました。この寄稿につい

ては、十一月号で御案内申し上げましたが、同じ南川岸の佐瀬さん他の皆さんからも御連絡を戴いておりますし、観音様に鳥居という不思議な取合せのこともあり、是非皆様の御協力を載せて改めて寄稿させていただきます。と考

〇「練習機で敵機と戦い、壮烈な戦死を遂げた大貫大尉の記事を読み感銘深いものがある。丁度あの頃、自分は少年であったが、空襲警備の監視哨(敵米襲撃発見任務)要員であった、記事による押尾栄



う方から戴いております。旧上塚村上空で展開された、敵機グラマンと大貫練習機隊の戦いが如何に烈しかったかが推し計られて、何か胸に伝わるものがありました。その冊子が届きましたならば、何かの形で本紙に発表させていただきたいと思っております。

〇「練習機で敵機と戦い、壮烈な戦死を遂げた大貫大尉の記事を読み感銘深いものがある。丁度あの頃、自分は少年であったが、空襲警備の監視哨(敵米襲撃発見任務)要員であった、記事による押尾栄

〇「練習機で敵機と戦い、壮烈な戦死を遂げた大貫大尉の記事を読み感銘深いものがある。丁度あの頃、自分は少年であったが、空襲警備の監視哨(敵米襲撃発見任務)要員であった、記事による押尾栄

成東く子供の国 都市計画道路の建設告示

九十九里海岸都市計画道路が成東海岸から横芝海の子供の国間に建設されることになり、昭和四十九年十一月十二日付の千葉県報に次のように告示されました。

千葉県告示第九百二十七号
都市計画法(昭和四十三年法律第百号)第十八条第一項の規定により、九十九里海岸都市計画道路を次のとおり決定した。

昭和49年11月12日

千葉県知事 友納武人

- 一 都市計画の種類及び名称
九十九里海岸都市計画道路三、三、一号連沼公園線ほか一路線
- 二 都市計画を定める土地の区域
山武郡成東町大字木戸字北浜の一部の区域、連沼村大字木曜、矢指及び砂の各一部の区域、大字平字浜の区域の一部の区域、大字口字魚屋前、魚屋後、提外拾六石、南中下及び大野場の各一部の区域並びに大字八字田向、下、田迎、北内田、北中根脇、北稻荷前、南堰内及び龍立の各一部の区域並びに横芝町大字屋形南川岸の一部の区域

尚、この道路は、東関東リクレイション都市建設事業に伴って増大する観客を受け入れるために建設される道路で巾員は22メートルから28メートルの四車線を用いた道路です。

